

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2026
3
vol.339

連携協力に関する協定を締結



TOPICS

- ・ 日本酪農政治連盟福島県支部連合会 定期総会開催…… ③
- ・ 牛群検定研修会開催 …………… ④

浪江町にて、 福島大学食農学類および東北大学大学院農学研究科、 浪江町、全酪連、酪農組合、シャインコースト(株)による 連携協力に関する協定を締結

令和8年2月3日(火)浪江町役場会議室に於いて、浪江町が整備をしている「大規模酪農施設」を中心に、農業、畜産業及びその他の産業分野の振興に関する教育、実習、研究・技術開発等を産・官・学連携で推進し、東日本大震災による被災地域全体の活性化などに貢献することを目的に、福島大学食農学類、浪江町、全国酪農業協同組合連合会、福島県酪農業協同組合、シャインコースト(株)5者による、連携協力に関する協定式が行われました。

当日は、浪江町長吉田様、福島大学食農学類長新田様、全酪連代表理事専務熊谷様、シャインコースト(株)代表取締役専務山崎様、酪農組合紺野組合長による協定書への調印がおこなわれ、大学との連携により学生の酪農実習や研究が進むことへの期待する挨拶がありました。

また、令和8年3月4日(水)浪江町防災交流センター会議室に於いて、東北大学大学院農学研究科と浪江町を含めた5者による連携協力に関する協定式が行われました。

当日は、浪江町長吉田様、東北大学大学院農学研究科長北澤様、全酪連常務理事工藤様、シャインコースト(株)代表取締役専務山崎様、酪農組合紺野組合長による協定書への調印がおこなわれ、福島大学食農学類同様、大学院との連携により学生の酪農実習や研究が進むこと、また、大学院内知見のフィールドへのフィードバック等に期待する挨拶がありました。

今後シャインコーストファームでは、全酪連と大学との連携の他、全酪アカデミーや酪農ヘルパー全国協会との連携もおこなわれ、広く酪農従事者の育成教育がおこなわれます。これらの取り組みに対し組合も協力していくことになりましたので、組合員皆様のご理解を宜しくお願い致します。



(写真：左から紺野組合長、全酪連熊谷専務、吉田町長、福島大学新田食農学類長、シャインコースト山崎専務 2026年2月3日)



(写真：左から紺野組合長、全酪連工藤常務、吉田町長、東北大学大学院北澤農学研究科長、シャインコースト山崎専務 2026年3月4日)

日本酪農政治連盟福島県支部連合会 第63回定期総会を開催



会長 橋本浩幸氏



根本拓氏

去る令和8年2月17日、県酪農協本館1階会議室において、日本酪農政治連盟福島県支部連合会第63回定期総会が開催されました。

初めに橋本会長より挨拶があり、「酪農情勢は昨年8月に乳価値上げが行われたものの飼料高騰等により経営継続は依然厳しい状況が続いている。我々酪農家は自助努力で何とか凌いでいるが、努力だけで改善できる範疇では到底ない。中央委員会を通じ、引き続き現場の声を届けてまいりたい。」との挨拶がありました。

来賓の皆様からはまず初めに、日本酪農政治連盟委員長 柴田 輝男 様（代理：坂本 保 様）より、ご祝辞をいただきました。続いて、福島県酪農業協同組合 紺野 宏 組合長よりご祝辞をいただきました。また、お忙しい中、衆議院議員 根本 拓 様にもご臨席を賜り、ご祝辞をいただきました。

総会におきましては、①令和7年度運動報告、財産目録、収支決算承認について、②令和8年度運動計画案、収支予算案について、③令和8年度の会費の賦課、徴収方法の決定についての3議案が上程され、慎重審議の結果、満場一致で全議案が可決されました。

酪政連として、新年度についても、厳しい酪農業界が少しでも快方へ向かうよう、関係機関へ積極的な働きかけを行っていきたいと思います。

福島県乳牛改良推進協議会主催

牛群検定研修会開催

令和8年2月26日(木)～27日(金)に、全国酪農業協同組合連合会大阪支所技術顧問 永井秀樹 氏を講師にお呼びし、牛群検定実施農家のバーンミーティングとグループワークを実施しました。主に営農指導に関わる関係団体職員を対象として開催し、21名が出席しました。

26日午後には、牛群検定モデル農家として、県北地区の鈴木敏之さんにご協力いただき、事前に参加者へ鈴木牧場の牛群検定データを配布し、課題等を確認してもらい、3つのグループに分かれ、現場での確認作業や牛を見ながらBCSの確認を行いました。

翌日27日は、福島県農業総合センター（郡山市日和田）において、前日のグループ毎に、バーンミーティングで確認したことを踏まえて、グループ毎に、BCSと搾乳日数との関係をグラフにして作成した後、問題点等の洗い出しを行い、改善点の話し合いを行いました。



岩谷金良会長 挨拶



講師 永井秀樹 氏

各グループでまとめた内容については、グループの代表者に発表してもらいました。全グループが発表した後は、永井先生からの総括をいただき、永井先生より、見逃しがちな移行期の管理方法についてのご講演をいただきました。

この研修会は、多くの関係者に理解を深めてもらう為に、福島県乳牛改良推進協議会が主催となり3年前より実施しております。関係者の意識改革も含め、今後の研修会の在り方を検討してまいります。



グループワークの風景

酪農ヘルパー職の職員を募集しています

酪農組合では、酪農ヘルパー職の職員を募集しています。

酪農ヘルパー職とは、酪農組合の組合員酪農家（県内全域）の休日取得時に、酪農家に代わり乳牛の世話（搾乳、給餌、牛舎・牛床清掃）をする仕事です。

酪農ヘルパー職に興味ある方は是非 求人エントリーをお願いします。

組合員ご子息・関係者等で臨時ヘルパー職員に興味ある方につきましてもお問い合わせください。

問合せ先：福島県酪農業協同組合 経営管理部 採用担当

電話 0243-33-1101 <https://www.milk.fukushima.jp/recruit/>

※福島県酪農業協同組合ホームページの『採用情報』『酪農ヘルパー募集/急募!!』より直接お問い合わせ頂くか、『マイナビ転職』にご登録し応募。『福島県酪農協・酪農ヘルパー』で検索し、応募フォームよりエントリー。

FD24 会 会員研修会・懇親会

FD24会（会長：遠藤明）は2月4日(水)、酪王協同乳業株式会社を視察、会員ら14名が参加し開催されました。

初めに酪王協同乳業 鈴木会長より「昨年4月に郡山より移転し、今春から全ての機械が稼働します。生産体制の強化に努めたい」とあいさつ。続いて同生産部長の長沢卓也氏よりスライドを使い、農家から集められた生乳が殺菌などの工程を経て消費者に届くまでと、集められた生乳を貯蔵するタンクは1日最大300t受け入れが可能。通常は120t程度の貯蔵で対応しているとのこと。タンクでは脂肪分の偏りを防ぐ工程が非常に重要で、貯蔵の際均質化を行うことで脂肪が分離せず安定した貯蔵を行うことが説明されました。その他牛乳以外の加工品の中でも、東京大学基礎研修で発見された「11-19-B1乳酸菌」を使用したヨーグルトの説明は同社一押し商品として話しぶりにも熱がこもっておりました。

長沢部長からの説明が終わり質疑応答に移り、会員から「以前と集乳の順番が変わったが、以前のような集乳形態には戻らないのですか?」「365日稼働していて洗浄はいつ行われますか?」の問いに、集乳方法は現状のまま継続します。タンク洗浄は機械を入れ替えながら毎日行いますと長沢部長より回答がありました。

研修会后、懇親会場のアサヒビール園本宮に移動し、遠藤会長が「今後も引き続き会員の学びの場と懇親の場を設けていきたい」とあいさつ。その後乾杯が行われ懇親会がはじまり、酪王協同乳業の川勝取締役、鈴木部長を交え終始和やかな会食が進みました。閉会を添田副会長が行い、無事研修会・懇親会が終了しました。

次年度も会員の方が学びと懇親を深められるような有意義な会となるよう心がけて運営してまいります。



浪江町大規模酪農施設 (シャインコースト(株)) 内覧会開催



2月18日(水)に行政・生産者団体・飼料会社・動物用医薬品メーカー・乳業等を対象とした浪江町大規模酪農施設の内覧会を開催しました。1月下旬と2月上旬の2回に分けて開催した組合員視察会も多数ご参加いただきましたが、当日は、想定を上回る188名の関係者に牛舎付帯設備全てをご披露することができました。

平成30年4月より、行政・関連団体と連携して準備を進めてまいりました浪江町大規模酪農施設ですが、いよいよ令和8年4月上旬に浪江町からシャインコーストに引き渡しとなり、その後、牛を順次導入し晴れて開牧となります。

この牧場が、「復興のシンボル」、「被災農地の地力回復」、「県産生乳の安定確保（震災後の遺損乳量回復）」、「新規就農希望者・酪農後継者への技術サポート」、「組合員の誇り」となりえるよう、開牧に向け、関係各位のご理解ご協力のもと着実に進めてまいります。年度末の業務多忙中、ご参加いただき誠にありがとうございました。



県中やまびこ会

県中やまびこ会（会長 斎藤麻貴子）では、令和七年十二月九日(火)県中・田村方で寄せ植え講習会を、令和八年一月二十七日(火)会津方でクラフト講習会を開催しました。寄せ植えでは、自分の感性や好みで配置のバランスや色の組み合わせ方を考えて植え付けていき、どれも素敵で綺麗な仕上がりになりました。また年を越えて長く観賞できる花もあり楽しみもあります。

クラフト講習会ではクラフト愛好会の伊藤秋恵氏を講師にお迎えしクラフトバンドでカエルの小物入れを（花かご）作りました。伊藤先生には大



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 令和7年度 研修報告会 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

令和8年2月6日(金)、令和7年度職員が参加した研修について報告する会が開催されました。

コロナ禍以降、研修会が少なくなり、オンライン開催が増えておりますが、今年度は海外研修会に2名が参加する等、実際に現地に行く機会があり、学んできたことを発表してもらいました。

新人職員も増えておりますので、研修会に参加する機会を増やしていき、多くの情報を見て・触れて・学ぶ機会を作ってほしいと思います。

発表者一覧			
1	畜産技術情報会議 視察研修	生産指導課	平尾 修
		生産指導課	岡野 巧
2	酪農技術セミナー	指導診療所	久保 葵
3	農場管理認定獣医師研修会	指導診療所	小島 宏文
4	東北酪農生産研究会海外視察研修	購買畜産課	鈴木 守一
5	ロイヤルウインターフェアとカナダ酪農視察研修	購買畜産課	渡辺 弘美
6	ミネロファーム研修について	復興牧場設立準備室	深谷 舞



寄せ植え・クラフト講習会



変お世話になり、丁寧なアドバイスのもと、自分の感性や技術によって、人それぞれ少しずつ形やカエルの表情が違い、自分だけのオリジナルの可愛い花かごが出来上がりました。寄せ植えも花かごも皆、同じ材料を使っただけの製作でしたが、どれも同じ作品がなくて、一点が個性的で自己表現の場としても大変有意義な講習会でした。また皆で作ると会話も弾みストレス発散にもなり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

引き続き畜舎環境美化を目指し酪農へのイメージアップを図っていききたいと思います。

全酪連の小窓 3月号 ~腸内の安定化を図る~

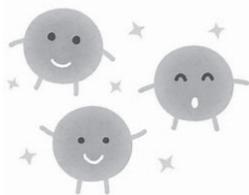


花粉が舞う時期になりました。花粉症対策や春風邪予防で日頃から乳酸菌製品を取り入れている方もいるのではないのでしょうか。人にも良い効果をもたらす乳酸菌ですが、牛にも同じく腸内環境を安定化する効果があります。
今月は腸内環境を整えるためにどのような製品を取り入れていくべきかご説明します。

腸内フローラについて

腸内フローラは、短鎖脂肪酸の生成による腸粘膜の健全性の維持やエネルギー供給を促したり、腸管免疫系を刺激し抗体産生を促進したりと、家畜の健全性・生産性の向上のために重要です。

腸内フローラの構成要素



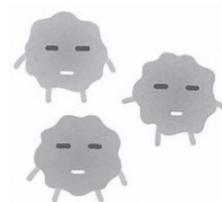
善玉菌

- ▶ 乳酸菌、ビフィズス菌など
- ▶ 有害菌の増殖を抑え、消化吸収を助け免疫力を高める



悪玉菌

- ▶ 病原性大腸菌など
- ▶ 腸内環境を乱し、有害物質を生成して健康を損なう

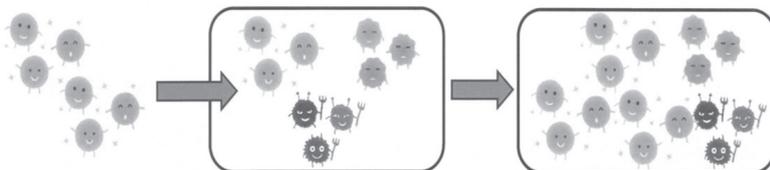


日和見菌

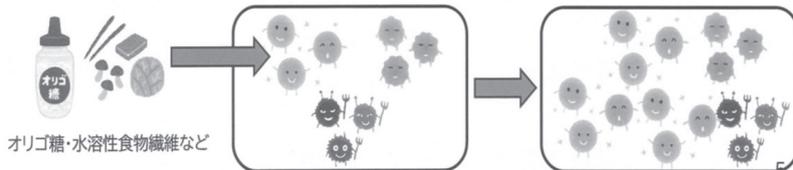
- ▶ 大腸菌など
- ▶ 腸内環境や免疫状態に応じて、善玉菌にも悪玉菌にもなる

よく聞くこの2つ プロバイオティクス と プレバイオティクス この違いは？

■ プロバイオティクス: 生きた善玉菌そのものを給与することで、善玉菌を増やす



■ プレバイオティクス: 善玉菌の増殖を促す(餌になる)ものを給与し、善玉菌を増やす



オリゴ糖・水溶性食物繊維など

プロバイオティクス は生きた善玉菌、プレバイオティクス は善玉菌のエサを指します。

この2つを組み合わせたものをシンバイオティクスと呼び、善玉菌の定着と増殖を効率的に促進し、腸内環境の改善効果を高めることができます。



乳酸菌製品【らくとけZ】のご案内



- 有孢子性乳酸菌を配合したプロバイオティクス製品
- 溶解性に優れ、沈殿が少ないため、哺乳ロボットにも最適
- 少量の添加で◎（省力的で確実な摂取）

有孢子性乳酸菌とは？

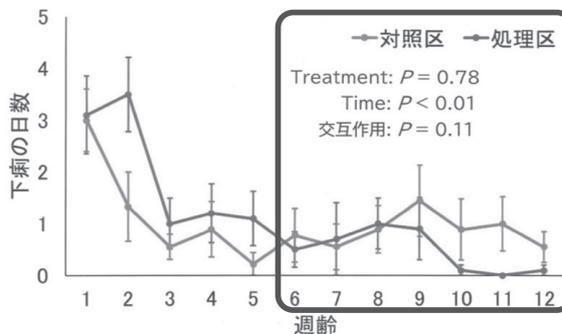
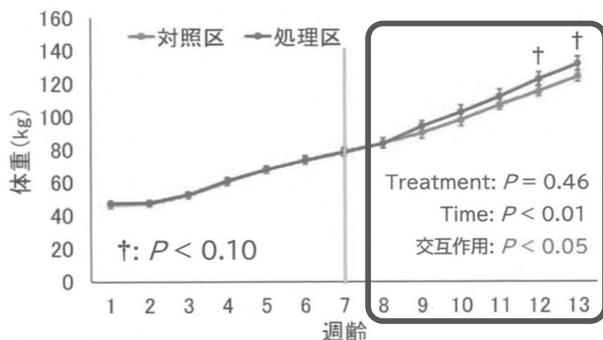
芽胞を形成することで、胃酸で死滅せずに“生きて腸まで届く”ことができる乳酸菌で、腸内の到達率と増殖性に優れています。

有孢子性乳酸菌は、単独で給与で他の善玉菌の増殖を促すことで、酪酸を産生しやすい腸内環境にすることが鶏豚で確認されています。

弊会酪技研での研究結果より

1日10g添加時には以下の効果がみられました。また20g添加時には以下の効果に加え、初期の下痢低減の効果も見受けられました。

- ▶ スターター摂取量の増加
- ▶ 発育の増加
- ▶ スターター摂取量の増加に伴う下痢の抑制



【らくとけZ】の使用方法

- 代用乳に10g/日の添加
 - ✓ 健やかな腸内環境の維持により、安定した離乳管理に役立つ!
 - ✓ 安定したスターター摂取により、発育をサポート!
 - ✓ 初期からの腸内環境の維持に貢献! (20g添加時)

その他、ルーメン・腸内環境をサポートしたいタイミング（育成・親牛への給与など）で幅広く活用可能となっています。箱単位（1kg×10袋）や1袋（1kg）での取り扱いもごさいます。ぜひこの機会にご利用ください。

ご不明な点がございましたら、全酪連スタッフや福島県酪職員へご相談ください!

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.255



駆虫あれこれ…

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

昔に比べると大分普及した内外部寄生虫の駆虫。そんな中で、よくあるお問い合わせの一つに『駆虫のタイミングはいつ？年何回がいいの？』という質問があります。

そこで、Vol.255のゼノアックコーナーは、駆虫の目的に合わせたタイミングについてお話したいと思います。

何を対策したいのか？目的に合わせた駆虫を。

一言で『駆虫』といっても、農場ごと、牛ごとに駆虫の目的は様々です。対策ごとに駆虫の月齢やタイミングも異なってきます。せっかくコストと時間をかけて駆虫をするので目的に合わせた駆虫をしましょう。

下の図では駆虫の主な目的と時期をお示ししています。

参考にしてください!!



内部寄生虫対策

駆虫は、内部寄生虫と外部寄生虫の駆除ができ、内部寄生虫は牛の胃や小腸に寄生し、牛が摂取した栄養分の横取りをすることにより生産性が下がります。また、食欲の低下や免疫力の低下も引き起こすことが分かっています。放牧に出す牛への駆虫は必須であり、**タイミングは、放牧開始時、夏場、放牧終了時の3回です**。また、注意したいのが、**北海道に預託に出した育成牛が分娩前に戻ってきたときです**。放牧の無い本州の飼育体制では、内部寄生虫の感染のリスクは低いのですが、北海道で感染した育成牛の糞から感染するケースが多いです。その理由から、**育成牛が戻ってきたときも駆虫のタイミングとなります**。

外部寄生虫対策

【シラミ】

牛の体毛に寄生して吸血します。強いかゆみを伴い、脱毛が目立ちます。牛にはストレスが非常にかかり、生産性の低下や、免疫力の低下が見られます。ホルスタインでは、あまりなじみがありませんが、かゆみから牛がお腹をしきりに舐めているサインを見かけたらシラミを疑ってください。

冬に多発しがちなので、駆虫のタイミングは、冬となります。

【疥癬一かいせん】

食皮ヒゼンダニの感染で引き起こされる皮膚炎であり、字のごとく、牛の皮膚に食い込みカサブタのような状態となり、非常にかゆみを伴います。ストレスが大きく、生産性に大きな影響を与えます。つなぎ牛舎で多く見られます。

免疫力の低下した牛に発生しやすく、その点から駆虫のタイミングは一年中です。

【刺しバエ、ノサシバエ】

人畜ともに大きなストレスを及ぼす吸血害虫です。また、ランピースキン病や牛白血病（BLV）を伝播させる害虫としても厄介な存在です。**駆虫タイミングとしては、刺しバエのピーク時である8月とされていますが、近年の異常な暑熱の影響で暑熱の少し落ち着いた9月くらいが刺しバエのピークとなっています。**



育成対策、繁殖対策

育成牛の1か月齢、6か月齢で駆虫を実施すると増体が改善するというデータがあります。また、分娩2～1か月前の乾乳牛に駆虫を実施すると、その後の泌乳量や繁殖成績に良い影響があるというデータがあります。

今回は、よくある質問の一つである、駆虫のタイミングについてお話しました。駆虫の目的ごとにタイミングよく駆虫をして、効果をより引き出す駆虫を宜しくお願い致します。 〇

令和7年度1月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、132円85銭3厘で前年より3円18銭6厘上回る単価となりました。

生乳取引価格については、令和8年4月1日取引分からは学乳向け4円/kgの値上げが予定されております。

- 東北全体プール乳代金 4,607,275千円 単価130.787円
- 内 福島県分プール乳代金① 460,526千円 単価130.787円
- プール対象外乳代金② 136,948千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 597,474千円 単価135.272円

項目	令和8年1月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	130円969	127円832	3円137	128円339
補給金単価	1円449	1円411	0円038	1円298
集送乳調整金単価	0円435	0円424	0円011	0円395
合計	132円853	129円667	3円186	130円032

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体1月)

用途別	販売乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	23,963	773.0	94.9	64.7	65.0
加工向け	5,301	171.0	94.9	14.3	14.4
学校給食向け	1,814	59.0	93.2	4.9	5.0
醗酵乳向け	5,405	174.0	97.0	14.6	14.3
生クリーム向け	442	14.0	117.1	1.2	1.0
チーズ向け	117	4.0	95.1	0.3	0.3
合計	37,041	1,195.0	95.3	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

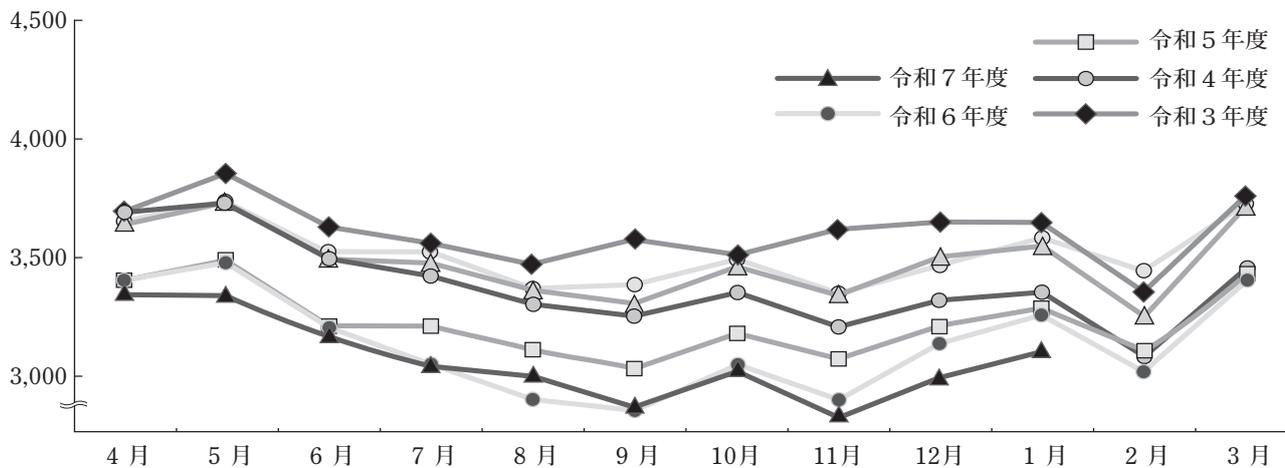
北海道：99.1%、都府県：98.7%

団体名	1月分		
	受託乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)
県酪協	3,110	100.3	95.2
全農福島県本部	1,309	42.2	92.7
合計	4,419	142.5	94.5
東北生乳販連	37,041	1,194.9	95.3
全国	580,108	18,713.2	98.9

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
令和6年度	3,405	3,480	3,206	3,058	2,981	2,897	3,078	2,990	3,141	3,266	3,034	3,416	37,952
令和7年度	3,359	3,444	3,181	3,046	3,001	2,916	3,033	2,880	2,991	3,110			
前年比%	98.6	99.0	99.2	99.6	100.7	100.7	98.5	96.3	95.2	95.2			

単位・トン



令和7年度受託乳量の状況

令和8年1月の受託乳量は、県全体で前年比94.5%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,110ト、前年比95.2% (対前年同月156ト減)、全農県本部は1,309トの対前年比

92.7% (対前年同月103ト減) の実績でありました。東北生乳販連の受託販売実績については、前年比95.3%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比98.9%となりました。

令和7年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で生クリーム向けが117.1%と上回り、飲用向けが94.9%、加工向けが94.9%、学校給食向けが93.2%、醗酵乳向けが97.0%、チーズ向けが95.1%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

今年度に入ってから生乳廃棄事故発生件数(R8.1.31時点)で集乳車廃棄事故が5件(5月2件、7月2件、12月1件)となっております。また、バルククーラー廃棄事故が4件(5月1件、7月2件、8月1件)となっております。事故原因として、スイッチ入れ忘れ、血乳混入等が挙げられます。皆様に再度確認して頂きたいことは、生乳生産管理チェックシート

の記帳と確認の徹底、乳房炎・乾乳軟膏治療牛のマーキング・隔離の徹底による抗生物質誤混入の防止、洗浄水混入防止、牛舎退出時にバルククーラーの乳温再確認・スイッチ入れ忘れが無い確認、ストリップカップを使って前搾りで血乳・乳汁ブツの確認、洗浄時にバルク排乳コックやミルクロー等搾乳部品に乳石付着が無い確認、ご協力の程宜しくお願い致します。

なお、4月から稼働開始した今月の酪王協同乳業(本宮工場)の生乳使用量は日量平均102.7ト(前年比-)で、県全体生産量の72.0%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和7年度	128.424	128.905	132.067	131.787	133.331	136.391	135.915	134.375	131.883	132.853			
令和6年度	128.759	130.057	132.319	131.084	130.136	133.294	132.236	132.474	128.774	129.667	130.399	127.569	130.564
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和8年1月31日現在

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	戸 19	戸 22	% 86.4	頭 469	頭 113	頭 132	頭 381	頭 668	頭 1,181	頭 1,763	頭 1,804	% 97.7	頭 92.8
県中	40	43	93.0	267	98	154	274	613	1,041	1,406	1,446	97.2	35.2
浜	6	6	116.7	108	38	16	49	133	198	344	331	103.9	57.3
県南	27	29	93.1	541	201	173	410	1,076	1,659	2,401	2,476	96.9	88.9
合計	92	100	93.0	1,385	450	475	1,114	2,490	4,079	5,914	6,057	97.2	63.6

地区	月別分娩予定頭数							販売乳量				
	令和8年2月	令和8年3月	令和8年4月	令和8年5月	令和8年6月	令和8年7月	令和8年8月	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
	1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛								
県北	頭 86	頭 90	頭 84	頭 75	頭 69	頭 112	頭 110	戸 19	kg 30,364	kg 1,598	kg 28.9	kg 25.7
県中	71	75	70	41	47	71	151	39	22,916	588	25.8	22.0
浜	11	11	12	9	18	18	24	6	5,527	921	30.4	27.9
県南	122	129	98	97	115	116	107	27	41,617	1,541	28.0	25.1
合計	290	305	264	222	249	317	392	91	100,424	1,104	27.9	24.6

第364回 県酪協乳牛市場成績

令和8年2月13日開催

購買者数 21名 (うち県外10名)

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	34 (94)	507,000 249,000	418,176 (98)	103 (96)	4,054 (101)
	雄	37 (97)	668,000 200,000	477,135 (89)	104 (90)	4,577 (100)
乳牛	雄	20 (100)	109,000 15,000	72,750 (151)	77 (105)	950 (144)
交雑牛	メス	77 (100)	217,000 90,000	147,351 (91)	75 (106)	1,976 (86)
	雄	72 (100)	230,000 25,000	169,167 (90)	80 (101)	2,106 (89)

価格：円 (落札価格) 率・比：% 体重：kg

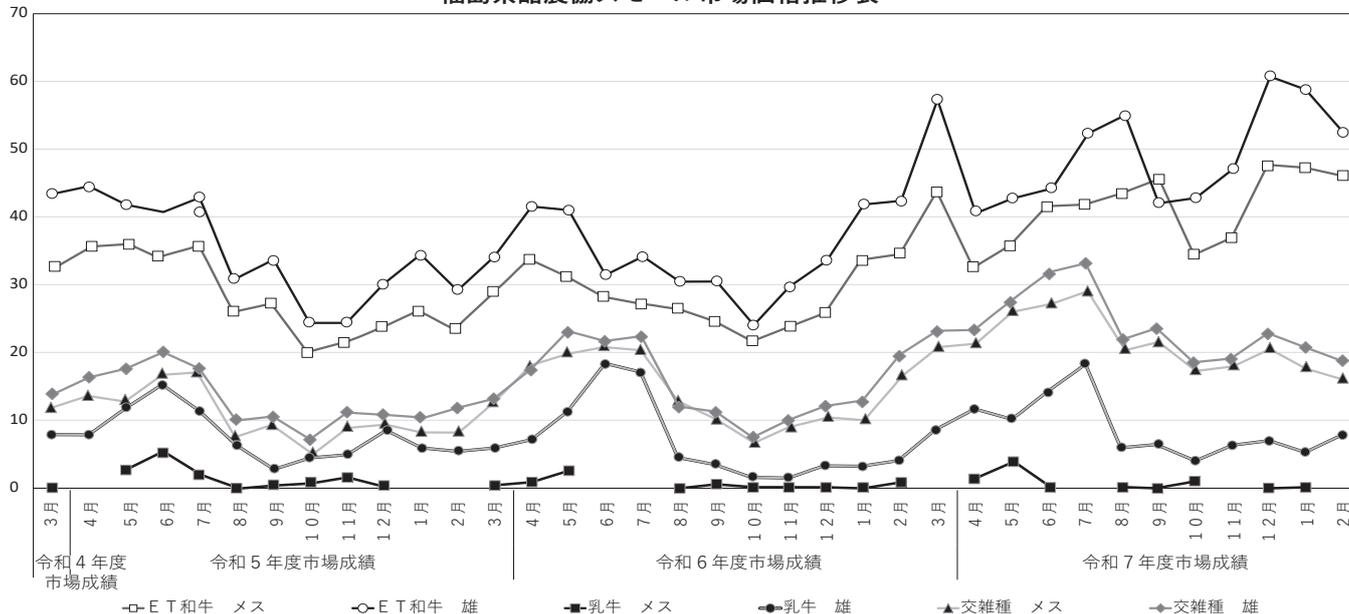
価格帯別分布表

(0は0.1~0.9万円、1は1.0~1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

畜種	雌雄	価格帯 (万円)																								
		40<	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	~	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
ET和牛	メス	12	2	1	2	1	2	2	4	3	3	2														
	雄	16		1								2		3	3		1	2	2	2	3	2				
乳牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	雄		1		2	1	2	4	2	1	1	6														
交雑牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	メス										7	6	12	7	6	9	5	2	2	3	8	4	6			
	雄			2	1			1	1		4		2	1	1	7	8	2	12	15	8	5	1	1		

単位：万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 2 月

2月3日	酪政連福島県支部連合会監査	2月17日	酪政連福島県支部連合会総会
2月3日	酪政連福島県支部連合会常任委員会	2月18日	シャインコート(株)施設内覧会
2月3日	酪政連東北ブロック協議会委員会	2月19日	福島県CS再編協議会
2月3日	福島大学5者連携協定式	2月20日	東北生乳販連事業推進委員会
2月4日	FD24会会員研修会	2月24日	県農業会議常設審議委員会・ 農政推進協議会総会
2月5日	シャインコースト(株)組合員視察会	2月24日	県ホルスタイン改良同志会決算役員会
2月6日	県酪農協職員研修報告会	2月25日	第9回理事会
2月6日	全酪アカデミー事業報告会および研修会	2月25日	監事と代表理事との定期的会合
2月9日	福島県環境と共生する農業推進会議	2月25日	
2月10日	県牛乳普及協会主催講演会	2月26～	
2月12日	シャインコースト(株)取締役会	27日	牛群検定研修会
2月13日	乳牛せり市場	2月26～	
2月13日	日本ホルスタイン登録協会社員会議	27日	全酪連監事・役職員研修会

理 事 会

第9回 令和8年2月25日

議 案

報告事項

第1号議案 令和8年度高能力乳用雌牛整備事業の
実施について

第2号議案 組織機構図の変更について

(1) 子会社・関連会社の令和7年度第3四半期事業
報告について

(2) 経営検討農家の現状について

(3) 今後の日程について

令和7年度異動等辞令交付

◆新採用（令和8年3月1日付）

職 位	氏 名	所 属
正 職 員	長 沢 和 大	生産部購買畜産課

新入職員のご紹介



生産部 購買畜産課

ながさわ かずひろ
●長沢 和大

3月1日付で生産部購買畜産課に配属となりました、長沢和大と申します。未経験ですが、日々学びながら一つひとつの業務に取り組んで参ります。

よろしく願いいたします。

酪王協同乳業
からのお知らせ

夕暮れ過ぎから楽しめる 大人だけの「酪王カフェオレ」!?

「黄昏カフェノワール」



× 963
WHISKY
NATURAL COLOR
NON-CHILL FILTERED

福島県南酒販株式会社は、1976年の発売開始以来、福島県民のソウルドリンクとして親しまれ続ける「酪王カフェオレ」と福島・郡山を拠点に活動するウイスキーブランド「963WHISKY」によるコラボレーション商品「黄昏カフェノワール」を2026年3月5日(木)に発売します。

963WHISKYが持つアメリカンオーク樽で熟成されたグリーンやモルト原酒をベースに、酪王カフェオレや香り高いコーヒーなどを絶妙なバランスでミックスしたコーヒーリキュールです。それぞれが持つ豊かな風味が相乗効果をもたらし、寄り添い合います。

ミルクを注ぎ、夕暮れ過ぎから楽しむ大人だけの酪王カフェオレをぜひご賞味ください。

品名：リキュール	内容量：500ml
発売日：2026年3月5日(木)	アルコール分：18%
発売地域：福島県内限定	※限定販売：300本



「特派員報告」大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思っております。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : info@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^)/する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
 - メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
 - E-mail : info@fukuraku.or.jp
 - F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岩谷 宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>